

2022年8月9日

株式会社不二越

日本海ガス絆ホールディングス株式会社  
日本海ガス株式会社

## PPAモデルを活用した太陽光発電システムの運用開始 ～ カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの活用 ～

株式会社不二越（本社：東京都港区、代表取締役社長：坂本 淳、以下「不二越」）と日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：土屋 誠、以下「日本海ガス」）は、太陽光発電システムPPAモデル（第三者所有モデル）に関する契約を締結し、富山市内にて運用を開始しましたことを下記のとおりお知らせいたします。

不二越はカーボンニュートラルに向け、事業所のCO<sub>2</sub>削減を進めており、PPAモデルを活用した太陽光発電システムを国内事業所で初めて導入いたしました。

日本海ガスが不二越富山事業所内に太陽光発電システムを設置し、不二越は発電した電力を全量自家消費します。再生可能エネルギーの地産地消により、電力由来のCO<sub>2</sub>排出量を年間約280t削減できる見込みです。今後も発電設備を増設することで、計画的にCO<sub>2</sub>排出量を削減していくことが可能です。

今回設置した太陽光発電システムは、停電時も日照があれば、非常用コンセントから電気を使用することができ、レジリエンス強化に寄与します。

不二越、日本海ガス絆ホールディングスグループは、再生可能エネルギーの導入・普及などを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### 導入設備概要：

設置機器	自家消費型太陽光発電システム 513.38kW（パネル1,351枚） 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
運用開始	2022年7月1日
設置場所	株式会社不二越 富山事業所 ロボット第3工場 富山県富山市不二越本町1丁目1番1号
導入効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み</li> <li>② 再生可能エネルギーの地産地消（自家消費モデル）</li> <li>③ 環境関連法規への対応（省エネルギー法、工場立地法）</li> <li>④ 停電時の緊急電源としての活用（レジリエンスの強化）</li> </ul>





自家消費型太陽光発電システム

### 第三者所有モデル（PPAモデル）：

電力使用者（不二越）が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者（日本海ガス）が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。電力使用者は、初期費用の負担なく再生可能エネルギー発電設備を導入することが可能となります。

以上

#### ■本件に関する問い合わせ

日本海ガス株式会社  
管理部 総務グループ 伊東／牧田  
TEL：076-443-2630

日本海ガス絆ホールディングス株式会社  
人事広報部 CSR推進グループ 飯野  
TEL：076-443-1812

株式会社 不二越  
安全環境推進部 エネルギー課 今井  
TEL：076-423-6523